

## シカゴ公衆便所設置運動の真相

シカゴ・クラブの古い文献の中から、1962年1月2日に整理したと思われるシルベスター・シールのフォルダーを発見しました。その中に1929年にフレデリック・ツウイードが書いた声明文が収録されていますので、その全文を翻訳してご紹介します。

---

### フレデリック・ツウイードの声明

1906の始めごろ、私が作りたと思っている空気弁の特許をとるために、発明家であるエバレット・アレンに資金提供をしました。当時の私の弁理士は、イリノイ州シカゴのマーケットビル1410に住んでいたドナルド・Mカーターでした。アレンと私はこれらの発明や特許出願について、ドナルド・カーターに相談をしました。

当時、クラブに弁理士がいなかったので、1906年4月にドナルド・カーターにロータリークラブの会員になる気はないかと尋ねました。彼はその申し出に関心を持ったようだったので、私はシカゴ・クラブの定款と細則の写しを見せました。

当時の定款にはクラブの目的が次のように規定されていました。

第2条 目的 目的は以下の通りである。

第1節 会員の事業上の利益の促進

第2節 通常、社交クラブに付随する親睦とその他必要と思われる事項の促進

ドナルド・カーターはこの定款に目を通して、「入る気はありません。その種のクラブは、会員以外の人々に何らかの利益をもたらすことを考えるべきであって、市民に対する何らかの奉仕をする必要があります。」と答えました。

そこで私は、「それならばぜひクラブに入会して、あなたが考えているように定款を変えてください。」と、彼に言いました。

この提案は好意的なものでしたので、ドナルド・カーターは、「分かりました。あなたの言うとおりにしましょう。」と答えました。

この話し合いの結果、彼は 1906 年 5 月にロータリークラブに入会しました。ドナルド・カーターは、定款に追加すべきことを考えて、その条文を書き上げ、私たちはその内容について議論しました。そして、この条文を次の通りに作りました。

第 3 節 シカゴ市の最大の利益を促進し、忠誠心を市民の間に広げること。

ドナルド・カーターは定款を改正する方法を考え、第 2 条にこの条文を加えることによって定款を改正するように、クラブに提案しました。

彼の動議によって定款改正が提案されたとき、ドナルド・カーターは、「全く利己的な組織は生き残ることができません。ロータリークラブとして生き残りかつ発展することを望むのならば、私たちの存在を正当化する何かをしなければなりません。私たちは何らかの市民に対する奉仕をしなければなりません。この改正は市民に対する奉仕が可能なシカゴの組織になるように、シカゴ・ロータリークラブの目的を拡大するためです。忠誠心を市民に広げて、シカゴ市の利益のため

に何かをすべきです。」と述べました。

ドナルド・カーターは定款改正を支持して、極めて熱心かつ誠意を持ったスピーチをしました。クラブはそれを採択し、定款と細則が印刷されました。

この定款の下で早速行われた事業が、市役所と図書館のビルの公衆便所設置活動でした。この公衆便所の発想は、私がドナルド・カーターに提案したものです。そして、私たちには、それについて何回も話し合いを持ちました。彼はそれをクラブに提案して、公衆便所委員会が設けられ、結果的に委員長に就任しました。市の役人とこの件について話し合い、役人が乗り気であることがわかったので、多くの団体がグレート・ノーザンホテルで開催されたシカゴ・クラブの会合に呼ばれ、この例会で動議が採択されました。ドナルド・カーターとシカゴ・クラブの活動の結果、市によって、市役所と図書館ビルに公衆便所が建設されました。

フレデリック・トゥイード

フレデリック・トゥイードと私は、以上の声明を読み上げた結果、正しい事実に基づいた声明文であることを確認します。

ドナルド・M カーター

---

以上がフレデリック・トゥイードとドナルド・カーターの声明文です。

冒頭にはドナルド・カーターの入会の経緯について、次のように説

明しています。

鑄物業であるフレデリック・トゥイードが、特許弁理士であるドナルド・カーターにシカゴ・クラブへの入会を勧めました。当時盛んに行われていた物質的相互扶助の特典を説明して入会を促したところ、クラブは対社会的奉仕活動をすべきだという理由で入会を断ります。その考え方に共感したトゥイードは、入会して内部から改革を実現するように説得して、カーターはこれに同意してシカゴ・クラブに入会します。

そしてこの年の 12 月に定款を改正して、第三節に「シカゴ市の最大の利益を促進し、忠誠心を市民の間に広げること。」という条文が加わりました。

この間の経緯がフレデリック・トゥイードの言葉で語られている重要な一次資料です。

この文章を読んで始めて知ったことは、シカゴ・クラブが行った公衆便所設置運動が、フレデリック・トゥイードとドナルド・カーターの発案であったということです。従来までの定説では、オーレン・アーノルドが書いた **Golden Strand** の以下の記述に基づいて、ポール・ハリスの発案だとされてきました。

「ポールは、偶然、シカゴ商工会の会合に出席しました。ループ地区における通行人のための快適な公共設備がないという議論があったので、そのアイデアをクラブに持ち帰りました。ここには、我々のエネルギーを傾注すべき市民のニーズがありました。我々は、価値ある奉仕の手助けができるのです。彼がそう述べたので、みんなは驚きました。ある者はにやりと笑って、その考えを撤回させることを考え

ました。ポールは、彼が真剣であり、そのようなプロジェクトが彼らの威厳の価値を高めることになる」と強く主張しました。」 Golden Strand より 田中毅 訳

Golden Strand は 1966 年に書かれた文献であって、伝聞に基づいた記載が多く、フランク・コリンズの例をあげて、事実と異なる記述が多いことをたびたび指摘してきましたが、この声明文から公衆便所設置運動の発案と実施の功労者はポール・ハリスではなく、フレデリック・トゥイードとドナルド・カーターであったことが推察されます。

2008 年 11 月 24 日